

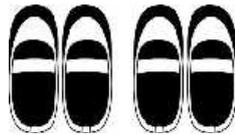
考動・躍動・感動

道徳の時間報告～第2弾～

A組 主題名「こころの花」

ねらい：

本資料は、スリッパや机などを「そろえる」活動が、『自分たちの身の回りの環境を過ごしやすいものにしていくために大切なことである』ということに気づくことができるものです。本資料を通して、自分が実際に行っている「そろえる」活動の大切さを再確認すると共に、今後「そろえる」活動を広げていき、みんなが過ごしやすい環境作りにつなげていって欲しいと強く思っています。



(生徒の感想)

ちょっとしたポイ捨てから犯罪が起きているとは思わなかった。みんなが気持ちよく過ごせるように、次からはいろいろな場所で『そろえること』を心がけようと思った。(菊地龍二さん)

小さいことをしただけでも、大きいことにつながっているということを知ることができてよかった。自分のできることから始めていこうと思った。(荒井良太さん)

D組 主題名「生活する上で心がけること」

ねらい：

毎日の生活を見ていると、何気なく過ごしているように見えた。また、冬休みの習字の宿題で「新しい決意」があった。何か意識しながら取り組めないかと考え、イチローという人間を題材に、何事も努力したり、回りの方々に感謝したり、また使っているものを大切に扱うことを学び、これからの生活に、これらを役立てて意識しながら取り組んでいくことをねらいとした。

(生徒の感想)

部活や勉強の時など何事も諦めず、その周りの人にも感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたい。

(各務水響さん)

今まで努力しても結果がついてこなかったこともあったが、決して諦めず努力を続けていきたいと思った。

(田邊歩睦さん)

F組 主題名「短所を長所に変えよう！

～リフレーミング～

ねらい：

生活して行く中で、自分のことを認めて自信をもつことが出来ないこともある。例えば「自分は『地味だな。』」と思っている見方を変えれば「自分は『控え目』なんだ。」と考えることもできる。一つの言葉でさえも前向きにとらえることで行動へと伴ってほしい。

(生徒の感想)

どんな短所もリフレーミングによってポジティブに考えることができた。一見、短所と長所は正反対に思えるけれど、今回はそんなことなくすごいと思った。

(平手琴乃さん)

考え方を変えれば短所が長所になりました。しかし、短所は短所なので自分で直さないといけないとも思いました。

(野田佳蓮さん)

E組 主題名「カーテンの向こう」

ねらい：

本資料は「相手のことを思う気持ち」の大切さを実感することができるものです。日頃友達同士で楽しく話をして、遊んでいるが、たまにお互い度が過ぎてしまい、周りに迷惑をかけることや言い争いになることがありました。そこで、自分のことだけでなく、周りの人のことを考え、人はお互いに助け合って生きていて、思いやりの気持ちをすべての人が持つことでより良いクラス・学年・学校・社会を築くことができるということに気づかせたいと思い、この授業をしました。

(生徒の感想)



人のことを思って生活していくことは大切だとわかった。僕もたまには誰かのことを思いやってみようと思った。

(佐野滉紀さん)

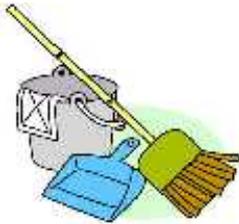
世界中のみんながヤコブのような人になればいいと思うのだけれど、みんながそんな人じゃないので、そんな人が増えてほしいと思った。

(佐々木鈴華さん)

B組 主題名「学校で掃除は必要か？」

ねらい：

日々掃除への取り組みを見ていて、遊んでばかりいる人や自分の仕事が終わったら見ていただけという人が多くて気になっていた。そこで、学校で生徒自身が掃除をする意味を考えても



らった。掃除はただ学校をきれいにするためのものではなく、周りの人と協力する力や効率よく物事を行えるように考える力が付くなど、自分の力を高めるものであるということを知り、掃除に対して真剣に取り組めることをねらいとした。

（生徒の感想）

掃除をする意味は、みんなが気持ちよく過ごすため・気分が悪くならないためなど、“みんなのため”でもあるが、将来いい大人になるためなど、（自分にとって）少しのことで大きく成長できることを知りました。

（浅井奈緒さん）

今日の授業を受けて、掃除をすることによってたくさんの方が身につくんだなと思いました。学校でちゃんと人間力を身につけて、社会で働きたいと思いました。

（池田真悠さん）

C組 主題名「いじめをしない〜わたしのいもうと〜」

ねらい：

実話をもとにした「わたしのいもうと」を通して、いじめの恐さを学習しました。いじめた方は忘れてしまいが、いじめられて方はいつまでも心に傷を負ってしまうこと。いじめは人間の脳のうち、本能の部分を攻撃するため、心も身体も壊れてしまうことなどを学びました。

（生徒の感想）

いじめられると心はもちろん、体にも影響を及ぼすのだということがよく分かった。ほんの少しのことでも、悪気を持って行っていないくても、とても傷つくのだということもよく分かった。もし、いじめられている子がいたら、自分から声をかけにいったあげたいし、いじめている子がいるならやめさせようとしたと思った。（井戸田梨瑚さん）



いじめはひどいものだし、いじめた方はいじめたことを忘れていくけれど、いじめられた方はずっと忘れられないことが分かりました。いじめによって人間の本能が壊されると、何もできなくなることが分かり、改めていじめは良くないことが分かりました。（安藤萌之香さん）

H組 主題名「1H人名辞典を作ろう」

ねらい：

『自分のことをもっと知ってもらいたい・相手のことをもっと知りたい』そんな思いは、だれもがもっているものです。お互いにインタビューをし合うことを通して、目の前の級友のことを理解していきます。質問も「なぜ?」「どうして?」を重ねさせて、それに答えることで自分のことも整理していけます。そんな時間となるよう、実践を行いました。

（生徒の感想）

同じ質問でも人によって答え方が違っていった。質問の答えを聞いて、自分の思っていることが出せる人と出せない人がいて、人のことをよく知るには、人の話をよく聞かないと分からないことがあると分かった。

（秋田七恵さん）

みんなの趣味が思っていたものとは違った。この授業を受けたことで、みんなのことがいろいろ知ることができて、もっと仲の良い友だちになれた気がします。

（高橋生楽さん）



G組 主題名「がんばる意味」

ねらい：

「一生懸命がんばって意味はあるのか。不安定なこの時代、がんばって本当に幸せになれるのか。」ある中学2年生の疑問です。同じことを思ったことがある人いるのではないのでしょうか。がんばることで結果が出ないことも、失敗することもあるけれど、「人間としての足腰が鍛えられる」ことに気づき、努力を積み重ね、自分自身を成長させられる人になって欲しいと思います。



（生徒の感想）

頑張ることで、たくさんの経験ができ、その経験から色々な感情や思いを知り、自分が強くなっていけるし、どんなことでも頑張ることを続けていけば、うまくいかなくたって、失敗したって自分の夢や可能性を広げることができると思う。

（加藤梨菜さん）

がんばることはすごい大切な、少しでも結果はついてくるし、がんばって失敗したときでも、へこたれないと気持ちの強い人になれる。大人になったら中学生よりすごい嫌なことがたくさんあるから、今のうちにがんばって気持ちが強い人になり、何でもへこたれない自分を作ろうと思う。

（川江紘生さん）